

## 【プログラム④：上手なほめ方、しかり方 ～伝え方のひと工夫～】

☆ねらい：子どものほめ方やしかり方について考え、どのような伝え方をすると、子どもの成長につながるか考えよう。

《プログラムについて》

◇プログラムのねらいの説明

○子どもが悪いことをした場合、つい感情的に叱ってしまうということは誰にでもあることで、叱られた子どもは何が悪かったか理解できていないことがある。そこで、本プログラムでは、ほめ方、叱り方の工夫の一つである「IメッセージY o uメッセージ」を使って考えてみる。

◇熊本県の保護者の意識

○「少子高齢化における家庭教育及び行政支援のあり方に関する調査研究」のアンケート（熊本県実施）

回答者・・・0歳から小学校2年生までの子どもをもつ保護者

子どもの叱り方 「理由を言って聞かせる」

「大声で怒る」「だめと注意する」

☆想定時間：60分

☆人数：何人でも可（展開では4人組をつくる）

☆準備物：ワークシート

☆主な活動

- ①ほめる場面、叱る場面を設定し、どのような言い方をするか考え、お互いに言ってみる。
- ②伝え方の一つの工夫として、IメッセージとY o uメッセージについて知り、やってみる。

## 【プログラム④：上手なほめ方、しかり方～伝え方のひと工夫～】

### I 展 開 例

(形態 全→全体での活動 ペ→ペア グ→グループ 個→個人)

	形態	講 座 の 流 れ
導	全	1. 活動のねらいを知る。
入	グ	2. アイスブレイクをする。 [例]「握手リレー」
10		
分		3. グループ作りをする。 (2. アイスブレイクでグループを作ったらそのままよい。)



展	全	4. 「こんな時どう言う？」を通して考える。(10分)
開	ペ	○やり方を知る。 ○自分の考えをお互いに声に出して言う。
40	全	5. 「IメッセージとYouメッセージ」について知る。(30分)
分	グ	○「Iメッセージ、Youメッセージ」のねらいと説明を聞く。(6分) ○場面1の状況に合わせて、言い方を考え、グループ内で紹介する。(12分) ○場面2の状況に合わせて、言い方を考え、グループ内で紹介する。(12分) ○(時間がある場合は、自分で場面を想定し、言い方も考える。)

ま	全	6. 振り返り、分かち合う。 ○感想を出し合う。
と		☆気持ちが伝わる言い方をするように心がけよう。
め		7. 活動をまとめる。
10	全	○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編) P30～P32を読み 合わせる。(参考)
分		○「くまもと家庭教育10か条」の第3条を読み合う。

## II 基本的な説明・問いかけ例

### 〔 活動 〕

### 〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

### 〔 備考 〕

#### 1. ねらいを知らせる

○この講座のキーワードは「子どものほめ方、しかり方」です。  
みなさんは、日頃、子どもをしかるときどんな言い方をしていますか。今日は、ほめ方やしかり方の一つの方法を体験して、考えていきます。

用紙に書いたキーワードの提示。

#### 2. アイスブレイク「握手リレー」

○今から「握手リレー」というアイスブレイクをします。全員で円になり隣の人と手をつなぎます。隣の人から手を握られたら、次の人の手を握ってください。声は出さないようにしてください。練習してみましょう。(スタートの人を決める)「用意、はい。」できるだけ素早くしましょう。(1回実施) どうでしたか。次は、スタート地点を2箇所にします。しっかり集中してください。(スタートの人を決める) 用意、はい。  
※2つのグループで競争することもできる。場や人数によってやり方を変える。

場所の広さに応じて、隊形ややり方は工夫する。

#### 3. グループ作り

○スタートの人から1, 2, 3, 4の番号をかけてください。次の活動からは、4人組で意見を出し合います。

4人組を作るのに時間をかけすぎないようにする。

#### 4. こんな時どう言う？

○こんな場面ではあなたは子どもにどんな言い方で何と言いますか。「子どもが『初めて、前跳びが続けて10回できたよ。』と、嬉しそうに言ってきました。」さて、日頃、あなたが子どもに言っているようなことばで応えてください。  
席の隣同士でお互いに言ってみてください。(しばらくしてから) 聞いた方はどんな感じがしましたか。  
○次は、「自分の子どもが、家の中で暴れて花瓶を壊してしまいました。でも、子どもは何も言いません。」このとき、あなたは、子どもに何と言いますか。これも、日頃、あなたが子どもに言っているようなことばで応えてください。お互いに言い合ってください。(しばらく待つ) これも聞いたときどんな感じがしたか話し合ってみましょう。

よい答えをしようではなく、日頃の言い方を基本とすることを知らせる。

## 5. Iメッセージ Youメッセージ

○日頃子どもに話しているように言えましたか？自分の気持ちや思っていることを子どもに伝えるとき、どんなことに気をつけていますか。（しばらく間をおいて、全体に問いかける。無理して答えてもらわなくてもよい）伝え方にはいろいろな方法がありますが、誰かに伝えたいことを伝える方法の1つに、「IメッセージとYouメッセージ」があります。

Youメッセージは、例えば、「あなたは片付けが上手ね」というように、「あなた」を主語にした言い方です。また、Iメッセージは、「私は、あなたが一生懸命したことが嬉しい」というように、「私」を主語にした言い方です。ワークシートを見てください。場面1、「子どもがおもちゃを出しっ放しにしたまま、外に出かけようとしています。」このとき、「IメッセージやYouメッセージ」を使った言い方だとどんな言い方になるのでしょうか。ワークシートに書いてみましょう。（しばらく待つ）考えたことをグループで出し合ってみましょう。発表者以外の方は、どんな感じがするか考えて聞きましょう。（しばらく待つ）

○次は場面2です。「自分の子どもが、遊んだおもちゃを進んでかたづけています。」この時はどんな言い方をするのでしょうか？さっきと同じように、ワークシートに書いてください。（しばらく待つ）これも考えたことをグループで紹介しましょう。

初めての場合難しく感じるので、IメッセージYouメッセージのどちらか、考えやすいほうから考えてよいことを知らせる。

ここでは4人組だが、ペアでもよい。考えの紹介の時間は短い、聞く意見は1つになる。

進行役がこれまでの経験で、理由を十分把握しなかったために、叱った後に後悔した事などを話してもよい。

## 6. 振り返り・ 意見の紹介

○今日のグループワークを通して気づいたことや感想などをみなさんに紹介してほしいと思います。（考えたりメモをしたりする時間をしばらくとる）

○気づいたことをみなさんに紹介してくださる人はいませんか？（進行役からの指名でもよい）

## 7. まとめ

◇家庭教育手帳  
◇家庭教育10か  
条  
・読み合わせ

○そうですね。子どもへの伝え方にはIメッセージYouメッセージのほかにもあります。「走りません」ではなく、「歩きましょう」のように、否定のことばを先に言うのではなく肯定的なことばを先に言うのも一つの方法です。

○大事なことは、叱るとき、感情に任せて叱るのではなく、子どもがなぜ叱られたのか、どうするのいいのかがわかるように伝えることだと思います。場面場面で言い方は変わりますが、ちょっと心に留めておいてはどうでしょうか。

家族みんなで心がけていこうとするのも「伝え方」のポイントである。

### Ⅲ 準備物

準備物	使用段階	留意点等
○ワークシート(人数分)	展開 まとめ	・ワークシートは、3段階に分けて使う。感想等はメモ程度の記入でもよいことを伝え、参加者の負担を軽くする。

### Ⅳ 【家庭教育手帳、くまもと家庭教育10か条】関連ページ

○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編)	まとめ	・「平成21年版P30～P32」が関連がある。関連ページをすべて印刷、配付してもよい。
○「くまもと家庭教育10か条」	まとめ	・第1、3条と関連があるが、他のプログラムにも関連があるため、本講座が1回目か2回目かによって扱い方を工夫する。

### Ⅴ その他

Q:「Iメッセージ、Youメッセージ」以外の伝え方は?

A:いろいろな方法がありますが、例えば、次のようなものがあります。

[例]

○同時に2つ以上のことは言わない。

○否定文「～したらダメ」ではなく、肯定文「～したがいい」を使う。

○「ほめる、しかる、ほめる」のサンドイッチで伝える。

例:「皿を運んでくれてありがとう。でも、落とさないように気をつけてね。

また、手伝ってね。」

※他にもいろいろな伝え方があると思います。どんな工夫をしているか等を参加者から出してもらったり、一緒に考えたりする活動を取り入れる方法もあります。

1 こんなとき、あなたはどのように言いますか？

① ○子どもが「今日、初めて前跳びが連続で10回できたよ。」と言ってきたとき

② ○家の中で暴れていて花びんをこわしてしまって子どもが何も言わないとき

2 「Iメッセージ」と「Youメッセージ」を使ってみよう。

☆Iメッセージは「私は・・・です。」という、「私」を主語にした言い方です。  
☆Youメッセージは、「あなた（は、が）・・・です。」という、「あなた」を主語にした言い方です。

【場面1】子どもが、おもちゃを出しっ放しにして外に出かけようとしています。その時

Iメッセージ	私
Youメッセージ	あなた

【場面2】子どもが、自分が遊んだおもちゃを、進んできれいに片付けています。その時

Iメッセージ	私
Youメッセージ	あなた

**振り返ろう！**

◇今日の講座をとおして、気づいたことや感じたことを書きましょう。